

ノーシンアイ頭痛薬の効果と安全性に関するデータ

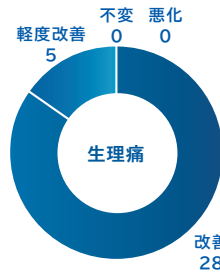
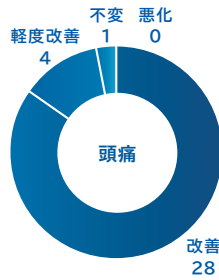
ノーシンアイ頭痛薬の配合比※における臨床試験結果は以下の通りです。

※ノーシンアイ頭痛薬の配合比 イブプロフェン：アセトアミノフェン＝150：65

症状別改善度

頭痛および生理痛の症状がある患者それぞれ 33 例における改善率は、頭痛 84.8%、生理痛 84.8%でした。

	改善	軽度改善	不変	悪化
頭痛(33例)	28	4	1	0
改善率	84.8%	12.1%	3.0%	0%
生理痛(33例)	28	5	0	0
改善率	84.8%	15.2%	0%	0%

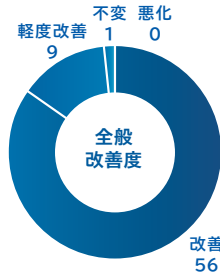


全般改善度

痛みおよび発熱の症状がある患者 66 例における全般改善率は 84.8%でした。

	改善	軽度改善	不変	悪化
全般改善度(66例)	56	9	1	0
改善率	84.8%	13.6%	1.5%	0%

※発熱例は頭痛を伴った 1 例のみであり、頭痛、発熱に対する効果はともに改善であったため、これらを総合した全般改善度も改善と判定された。

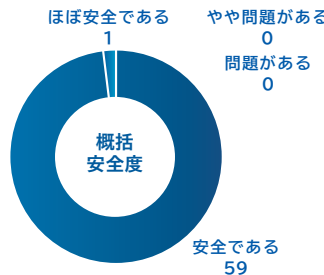


概括安全度

安全性評価対象 60 例のうち、59 例が「安全である」と判定され、概括安全率は 98.3%でした。

	安全である	ほぼ安全である	やや問題がある	問題がある
概括安全度(60例)	59	1	0	0
安全率	98.3%	1.7%	0%	0%

副作用：1 / 60 例（眼瞼浮腫）



<出典：医薬品製造承認申請資料>